

ニコニコ笑顔で挨拶をしてみよう

校長 工藤 誠志

学生時代に私は、飲食店で働く機会がありました。お客様が来客すると大きな声で「いらっしゃいませ!」と挨拶をするのですが、最初はなかなか言えなかったことを覚えています。うまく表現できませんが、なんだか恥ずかしいのです。それが何度か声を出しているうちに自然と声が前に出てくるようになります。「あれっ?」思うほどに恥ずかしさはなくなっているのです。

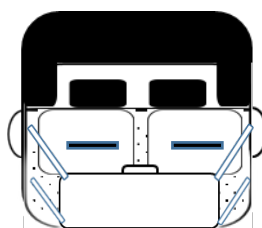
挨拶といえば、おはよう、おはようございます、いただきます、ありがとう、どうも、バイバイ、さようなら、おやすみ、おやすみなさい、とたくさんありますね。「挨拶は魔法の言葉」と言われるとおり、自分自身も自分の回りも変えていきます。挨拶は、「人と人との心をつなぐ」方法の一つです。また、「いつもありがとうございます」のような「感謝の思い」も含まれています。挨拶する場面は、学校や御家庭にお客様が来た時「こんにちは」、学校から帰るとき「さようなら」などいろいろです。

私は、ハニ養の子どもたちが、大きな声や動作等で挨拶ができる人になってほしいと思っています。気持ちのよい挨拶ができれば最高です。挨拶を通して、感謝の思いを伝えることのできる人になるよう願っています。挨拶をする場面はたくさんあります。「挨拶しなさい」と教えるほかに、ご家族が見本となるように挨拶を見せてあげるようにしてはいかがでしょうか。「見て学ぶ!」「やって学ぶ」「思い出して学ぶ」ことができるようにすれば、必ず身についていきます。上手にできたときは必ずほめてくださいね。

最近、マスクをしていることもあって表情が分かりにくくなっています。スーパーマーケットで多くの方々が目のあたりに注目して、知り合いかどうか確かめている方を見かけます。「目は口ほどにものを言う」「目は心の窓」など、昔から大切にされていたことを意識して気持ちが伝わるように相手の顔の目のあたりを見て笑顔になるように気をつけて挨拶をすると思います。

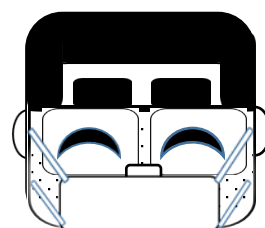
「ニコニコ笑顔」で、(あ)明るく、(い)いつも、(さ)さきに、(つ)続けて、挨拶するようにしてみましょう!!

真面目な顔



怒っているように
見えて怖く感じる

笑顔



目が笑っているから
笑顔が伝わってくる

引き続き感染症防止対策に御協力をお願いします。

学校が始まりました。依然として青森県全体の新型コロナウイルス感染症の感染状況は、高止まり状態です。引き続き感染症感染防止対策の継続をお願いいたします。体調の不安や疑問等がある場合は学校にお問い合わせください。